

一 般 質 問 議 題

令和7年西尾市議会12月定例会

令和7年12月1日分

質問順位	1	議席番号	25 番	氏名	大塚 久美子	答 弁 を 求める者
1 重層的支援体制整備事業と居住支援の一体運用について						市 長
(1) 令和8年4月に重層的支援体制整備事業を開始するにあたり、担当部局を明確にし、庁内横断連携(福祉、住まい、子育て、障がい、生活困窮)を構築する必要がある。計画策定の進捗状況はどのようなか。						
(2) 包括的な支援体制を担う部局として、家計、就労、健康、地域づくり等の複合的な課題を丸ごと受け止め、住まい確保までへのつながりを確実に行うべきである。相談受付から住まい確保、入居後の定着までをワンストップで機能させるための施策はどのようなか。						
(3) 令和7年4月から、住居確保給付金制度に「転居費用支援」が導入され、市町村窓口での申請、給付体制の充実が求められている。本市の相談件数、申請件数、決定件数、平均支給月数はどのようなか。						
(4) 住宅確保要配慮者の入居機会を増やすため、公営住宅の地域対応活用や住宅セーフティネット法の改正で定められた居住安定援助賃貸住宅(居住サポート住宅)を制度化することが効果的であると考えているが、どのように整備していくのか。						
(5) 分野ごとの居住支援を来年度以降「つながりの輪サポートステーション(つなサポ)」でどのように取り組んでいくのか。						
2 災害時、誰ひとり取り残さない支援体制の確立を						市 長
(1) 2025年6月公布の災害対策基本法、災害救助法の一部改正により、避難所以外の被災者への福祉サービス提供や被災者、避難所状況の把握強化が位置づけられたが、本市のどの計画、要綱、マニュアルに反映させるのか。また、スケジュールはどのようなか。						
(2) 愛知県避難所運営マニュアルでは、在宅避難者等支援施設への直接配給や避難所以外滞在者への配給方法が示されているが、本市の避難所運営マニュアル(受渡拠点、配送可否、人的体制)をどう整備するのか。						
(3) 被災した市民を守る「被災者支援システム」について、令和5年12月定例会で「導入に向けて前向きに検討している」との答弁であったが、現在の検討状況はどのようなか。						
(4) 市民による円滑な避難所運営のために「ファーストミッションボックス」について、令和6年6月定例会で「調査研究をする」との答弁であったが、現在の状況はどのようなか。また、避難所は市の職員が運営すると考えている市民が多いことをどのように捉え、周知をどのように考えているか。						

質問順位	2	議席番号	14 番	氏名	ささき えみ	答 弁 を 求める者
1	西尾市の小・中・義務教育学校の未来について					市 長
(1)	統廃合を含めた学校の今後の在り方について					教 育 長
	ア 「第3期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の中で、将来人口推計が新たに試算されたが、教育委員会としての受け止め方はどのようなか。					
	イ 適正な学校規模について、教育委員会の考えはどのようなか。					
	ウ 小学校1校の運営に必要な費用はどれほどか。					
	エ 学校施設の長寿命化についての考え方はどのようなか。					
	オ 現在、吉良中学校を新たに建設しており、その耐用年数は80年とのことだが、将来人口推計で示された生徒数の推移をどのように考えるか。					
	カ 教育委員会は統廃合を見据えた個別の方針を策定すべきと考えるがどうか。					
(2)	ムダのない「学校給食の提供方式」について					
	ア 「学校給食の提供方式」の検討状況と今後の進め方はどのようなか。					
	イ 「第3期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の中で、新たに試算された将来人口推計を用いて試算をすべきと考えるがどうか。					
	ウ 既存の施設を活かすなど、ムダな費用を抑える必要があると考えるがどうか。					
	エ 今後、建設費用が10億円以上など大きなプロジェクトについて、計画前段階からプロジェクトが進むごとに市民や議会に対して周知し、合意形成を図ることを検討しないか。					
2	市職員のためにハラスメント対策を					市 長
(1)	職員間や議員からのハラスメントに対してどのように対応しているか。					
(2)	市民からの過度なクレームや著しい迷惑行為、いわゆるカスタマーハラスメントに対してどのように対応しているか。					

(3) カスタマーハラスメントへの対策として、通話録音システムや窓口でのボイスレコーダーを導入している自治体もあるが、本市ではどのように考えるか。			
(4) ポスターでカスハラ防止の啓発や、職員の氏名を「ひらがなの名字のみ」に変更したり、悪質な場合は対象者の氏名を公表することを検討しないか。			
(5) 職員が働きやすい職場を確保するために、ハラスメントに関する条例の制定をすべきと考えるがどうか。			
3 市内農家の安定収入を図るために			市長
(1) 市内のお米、野菜、お茶、花きの農家数と経営状況について把握しているか。			
(2) 農家の安定収入を図るために新たな取組が必要だと考えるがどのようなか。			
(3) 豊田市は今年度から、みよし市、岡崎市、幸田町も令和8年度から農家の生活を少しでも安定させるために、地方創生臨時交付金等を活用して、農業経営収入保険の補助を始めると聞くが本市も始めないか。			
質問順位 3	議席番号 2 番	氏名 山市 志保	答 弁 を 求める者
1 児童虐待防止における自治体の責任とは			市長
(1) しつけと虐待の違いについて、本市の考えを伺う。			
(2) 母子健康手帳発行時や妊婦面談時などに、親権者の責任・虐待の定義・子どもの人権について、簡潔に紹介することで保護者の意識を変えるきっかけになると考えるが、本市の見解を伺う。			
(3) 本市として孤立を防ぐため、特に多胎児の親・ひとり親・障害児の親を支える教室の設置について、どのように取り組んでいるのか伺う。			
(4) こども家庭庁が令和8年度予算概算要求において、基礎自治体である市町村の虐待予防・対応能力の強化を掲げていることを踏まえ、この国からの要請に対し、本市としてどのような方針で応えていくのか、現時点での考えを伺う。			
(5) 子育て短期支援事業の預け先が里親や養護施設となっているが、預け先の選定基準はどのようなか。また、具体的にどのような家庭を対象としているか伺う。			
(6) 子育て短期支援事業について、保護者・子ども共に知らない人へ見てもらう不安を解消するための対応について伺う。			
(7) 子育て世帯訪問支援事業の一つである無償の家事支援制度について、本市としてどのような家庭を対象としているのか。また、制度の周知や利用促進にどのように取り組んでいるか伺う。			
(8) 児童養護施設退所者への伴走型支援について、進学・就労・住居などの相談窓口の整備や情報提供の強化に取り組む考えはあるか伺う。			

2 子どもの権利・人権の教育について			市 長
(1) 市として、子ども自身が自らの権利を学び、声を上げられるCAPのような教育の導入を検討すべきではないか。			教 育 長
3 給食費無償化の実現に向けて			市 長
(1) 本市の学校教育において、学校給食をどのように位置づけているのか見解を伺う。			教 育 長
(2) 学校給食費の「年間の保護者負担額」はどれほどか。また、子育て世代の経済的負担を軽減するための施策として「学校給食費の無償化」をどのように認識しているか伺う。			
(3) 田原市では全額無償化する財源がないため、半額を補助して保護者負担を軽減させている。本市も段階的な無償化に向けた考えはあるか伺う。			
4 保育士の人材確保について			市 長
(1) 保育士の給与について、国の加算制度を最大限活用できている状況であるのか伺う。			
(2) 9月定例会の一般質問では、地方自治法により原則支給できないとの答弁であったが、これは実質的には地方公務員法に基づく制約ではないか。			
(3) 私立園に対し、他市のように市独自の手当の導入について見解を伺う。			
質問順位 4	議席番号 22 番	氏名 磯部 雅弘	答 弁 を 求める者
1 自転車に関する道路交通法改正の周知と取組			市 長
(1) 2026年法改正により、自転車の交通違反に対する「青切符」の導入が予定されているが、認識はどのようなか。			教 育 長
(2) 自転車の交通違反に青切符が導入される理由をどう考えるか。			
(3) 本市における自転車が関係する交通事故の状況はどのようなか。			
(4) 自転車の交通違反に対する青切符の導入に対する周知について			
ア 16歳以上の自転車利用者が対象となるが、特に高校生への周知はどのようなか。			

イ 高齢者や外国人住民などへの情報伝達の工夫はどのようなか。	
ウ 周知期間や開始時期の目安はいつ頃を予定しているか。	
エ 啓発活動に加えて、罰則の内容を伝える必要性を感じるが予定はしているか。	
(5) 自転車の青切符制度は、16歳以上が対象だが、交通ルールへの遵守は年齢を問わず重要と考える。教育委員会として、16歳未満の児童・生徒に対する周知をどう進めるか。また保護者が制度を理解し、家庭で適切な指導ができるような、情報提供が必要と考えるが、対応はどのようなか。	
(6) ルールと現実のギャップを感じる歩道走行についての見解はどのようなか。	
(7) 単なる取り締まり強化でなく、地域全体で安全と利便性のバランスを考えられる地域を目指すべきと思うが市としての見解はいかがか。	
2 ごみ問題解決に向けて	市長
(1) プラスチック一括回収住民説明会の開催状況について	
ア プラスチック資源分別の変更内容と説明会の開催回数、全体の参加者数はどうであったか。	
イ 今回の分別変更の背景と目的は何か。	
ウ 今後の周知方法はどのように計画しているか。	
エ 今回の変更による市財政への影響はどのようなか。	
(2) 本市におけるごみ処理量と処理費用の推移はどのようなか。	
(3) 資源物の回収と資源化について	
ア 雑がみ回収の現状と今後の取組はどのようなか。	
イ ダンボール、雑誌、紙パック、新聞紙、雑がみの回収後の資源化の状況はどのようなか。	
ウ 月2回コンテナで回収している資源物等の回収後の資源化の状況はどのようなか。	

エ 資源として分別することによる売払料の推移はどのようなか。						
(4) ごみ分別の意義と市民協働について						
ア 市として、ごみ分別の意義をどのように捉えているか。						
イ PTAや子ども会への働きかけと取組の推移はどのようなか。						
(5) 町内会役員と未加入者の間で、ごみ収集所の維持管理について認識の違いを耳にする。ごみ収集所の維持管理において、ボランティア頼みの運営の限界と持続可能な仕組みへの転換について、しっかりとした方向性を発信していくべきではないかと考えるが、市としての見解はいかがか。						
質問順位	5	議席番号	17 番	氏名	小林 孝幸	答 弁 を 求める者
1	男性の育児休業取得を進めるための行政と市内企業の意識改革の必要性について					市 長
(1)	本市における男性職員の育児休業取得率の現状と過去5年間の推移はどのようなか。					
(2)	育児休業を希望しても取得に至らなかった男性職員がいる場合、その理由や背景をどのように分析しているか。					
(3)	男性職員が育児休業を取りにくいと感じる要因をどのように把握しているか。					
(4)	育児休業復帰後の男性職員に対するフォロー体制や人事上の配慮をどのように講じているか。					
(5)	育児休業を取得した男性職員が、キャリア面で不利益を受けないようにするための取組はあるか。					
(6)	市として、市内企業における男性育児休業取得の状況をどのように把握しているか。また、どのような実態把握の工夫を行っているか。					
(7)	市内企業が男性育児休業を進めていくにあたって、どのような課題があると分析しているか。					
(8)	男性育児休業や柔軟な働き方の推進について、市内企業・商工会議所等と連携した啓発や成功事例の共有をどのように進めているか。					
(9)	男性育児休業の取得を進める上で課題となる代替要員確保について、本市として一時的な人材代替支援制度などを検討できないか。					
(10)	男性の育児休業取得を特別なものではなく、当たり前にするための、行政・企業・地域が一体となってどのような仕組みを目指すのか。					

2 必要な人に必要な支援が届く生活保護制度の実現について			市長
(1) 本市の生活保護受給世帯数の過去5年間の推移はどのようなか。			
(2) 賃貸住宅に入居する際、住宅扶助として支給される家賃の上限は、地域の賃料相場や住居実態と不整合はないか。			
(3) 申請をためらうことや受給を断念するケースがあるとすれば、その要因をどのように認識しているか。			
(4) 外国人や単身世帯など多様化する受給対象に対し、多言語対応や文化的配慮はどのようにしているか。			
(5) 本市において不正受給は過去にあったか。あったとしたらその内容はどのようなか。			
(6) 生活保護受給者が就労可能な場合、就労支援・自立支援をどのように行っているか。			
(7) パートタイム就労やシルバー人材センター等を活用した就労支援と生活保護受給者のマッチング施策を行わないか。			
(8) 少子高齢化・人口減少が進む中で、生活保護受給者の増加・重度化・長期化が懸念されるが、10年先、20年先を見据えた生活保護制度や支援体制強化のビジョンを本市はどのように考えているか。			
質問順位 6	議席番号 5 番	氏名 渡辺 将司	答 弁 を 求める者
1 健全な財政運営の確立に向けて			市長
(1) 令和6年度に続き、令和7年度も過去最高の当初予算額を計上している中で財政状況が厳しいとしているが、その要因と内容はどのようなですか。			
(2) 財政状況が厳しいとしているが、行政サービスにどのような影響が出ると考えていますか。			
(3) 歳入は行政需要を満たすための財源ですが、安定した財源確保に向けた具体的な取組はどのようなですか。また、今後新たに取組む対策はどのようなですか。			
(4) 市民サービスや各種事業を実施するために必要な歳出の有効活用に向けた取組や経費節減のための取組内容はどのようなですか。また、今後新たに取組む対策はどのようなですか。			
(5) 非効率なものを廃止し、新たな施策に取り組むなどスクラップ・アンド・ビルドに取り組んできた内容及び今後の計画はどのようなですか。			
(6) 施設の老朽化などにより、普通建設事業費の増加が見込まれますが、今後の見込みと経費節減対策はどのようなですか。			

(7) 特別会計及び企業会計への繰出金の現状分析と今後の見通しをどのようにしていますか。また、健全財政への影響をどのように考えていますか。			
(8) 社会経済情勢により、当市の財政状況は良くも悪くもなるが、基準となる財政規模をどのように考えていますか。また、健全財政の確立に向けた考えはどのようなですか。			
2 小・中・義務教育学校の樹木管理について			教 育 長
(1) 小・中・義務教育学校の樹木管理の現状はどのようなですか。また、その課題をどのように捉えていますか。			
(2) 剪定などの樹木管理の予算はどのような基準で計上していますか。また、管理計画はどのようにしていますか。			
質問順位 7	議席番号 29 番	氏名 中村 眞一	答 弁 を 求める者
1 市道岡島高河原線支線のJA西三河施設への進入道路について			市 長
(1) さきの全員協議会で市長は、この道路設置についての事前相談はなかったとのことだが本当か。			
(2) この道路は市が設置すべきと判断し、最終的に工事着手を指示したのは誰か。			
(3) 道路新設工事の場合は、市道認定をかけた後に税控除の観点から用地買収をすることが基本となっていました。この道路新設に関しては施工後に買収や市道認定をかけようとしたのはなぜか。			
(4) 当初から、JA西三河から県に対し道路占用ではできなかったのか。			
2 財政調整基金の枯渇が心配される問題について			市 長
(1) 市長就任前には60億円あった市の財政調整基金が、来年度には枯渇する恐れがあるという非常事態を招いていることについて、市長はどのように責任を感じているのか。			
(2) 10月には公共施設再配置検討委員会が設置されたが、今後、実際に再配置に至るまでのスケジュールをどのように考えているのか。			
(3) 西尾市の長期財政計画(平成28年度から37年度(令和7年度))は、本年度で最終年度を迎えるが、来年度以降の計画はどのようなか。			

質問順位	8	議席番号	10 番	氏名	山本 栄児	答 弁 を 求める者
1 多様な市民に届く情報伝達と「共に備える」体制づくりについて						市 長
(1) 災害時における防災情報の伝達体制はどのようなか。						
(2) 外国人や高齢者、障がい者などに対する情報伝達はどのようなか。						
(3) 地域や自主防災組織との連携による「共に備える」体制づくりへの本市の支援状況はどのようなか。						
2 AIを活用した市民サービスと行政DXの推進について						市 長
(1) 本市でのAIを活用した市民サービスや行政業務のDXの現状はどのようなか。						
(2) 公共施設などでAIを活用した案内や情報提供の導入を検討しないか。						
(3) 行政DXの推進に向け、職員の業務の効率化や市民の利便性を向上をさせるために、今後どのように取り組むのか。						

一 般 質 問 議 題

令和7年西尾市議会12月定例会

令和7年12月2日分

質問順位	9	議席番号	26 番	氏名	本郷 照代	答 弁 を 求める者
1	一色さかな広場周辺の一層の活性化策について					市 長
(1)	令和7年9月定例会の一般質問において「旧幡豆郡エリアでは、必ずしも西尾駅周辺のまちなかと同じやり方が有効ではなく、それぞれの地域が持つ強みを理解し、その強みとなる地域資源をどのように生かすかが重要だ」と答弁がありましたが、一色町の強みについてのお考えはどのようなのですか。					
(2)	一色さかな広場の令和6年度の決算や取組を市としてどのように分析していますか。					
(3)	将来的な一色さかなセンターの建て替えや改築について、市はどのように考えていますか。					
2	母子保健事業のDX化について					市 長
(1)	本市の母子保健事業のDX化の進捗状況は、どのようなのですか。					
(2)	令和5年10月から母子手帳アプリ「にしMO」を導入しましたが、市民の利便性はどのように向上しましたか。					
(3)	市長の所信表明にある「コスト意識」という観点から、費用対効果をどのように分析していますか。					
(4)	得られたデータの活用は、どのように考えていますか。					
(5)	DX化を進めるにあたり、保健師等職員のスキル向上・知識向上に対する支援策はどのようなのですか。					
3	避難所の環境改善について					市 長
(1)	近年、スフィア基準という国際基準についての報道や記事に触れるようになりました。市として、この基準をどのように認識していますか。					
(2)	令和6年12月に自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドラインが示されました。そのうち、トイレの確保や管理の改善策について、進捗状況はどのようなのですか。					
(3)	食事の質の確保については、一般財団法人中部キッチンカー協会と連携協定を結びましたが、運用面での協定内容はどのようなのですか。					

(4) 生活空間の確保について、新たな基準で示されている居住スペースの確保に向けての進捗状況はどのようなですか。				
質問順位	10	議席番号 6 番	氏名 細井 まゆみ	答 弁 を 求める者
1 快適に安心して暮らせるまちづくり				市 長
(1) いこまいカーと相乗りタクシーについて				
ア 登録者数はどのようなか。				
イ 市の負担額はどのようなか。				
ウ 登録者数を増やすための周知方法はどのようなか。				
エ 契約しているタクシー会社の負担はどのようなか。				
オ 今後利用者が増加し、タクシーが不足する可能性はないか。				
(2) 六万石くるりんバスについて				
ア 各路線の利用者数はどのようなか。				
イ 運営状態はどのようなか。				
ウ 高齢者以外の世代への周知方法はどのようなか。				
エ 現在、吉良・幡豆地区はバスが走っておらず、不便な状態が続いている。岡崎市の山間部では、その地区のボランティアが、独自のバスを走らせていると聞いた。本市でも地域の力を結集し、民間のバス路線をつくれませんか。				
質問順位	11	議席番号 18 番	氏名 中村 なおゆき	答 弁 を 求める者
1 ブルートゥーリズムの推進と持続可能な観光まちづくりについて				市 長
(1) ブルートゥーリズム推進の現状と方針について				

ア 市として、ブルーツーリズムをどのように定義し、推進しているか。	
イ 佐久島・一色漁港・吉良温泉などの観光資源を活用した漁業体験、海辺体験、自然学習などの観光資源化の現状と課題を伺う。	
ウ 第2次西尾市観光基本計画では「豊富な自然環境の整備・活用、多様な観光資源の魅力や価値を高める」としている。様々な資源を活用したブルーツーリズムの今後の方針をどのように考えているか。	
(2) 地域経済への効果と地域連携の体制について	
ア ブルーツーリズムによる地域経済への波及効果について、市の分析と今後の見通しはどのようなか。	
イ 地域住民・漁業者・観光事業者等との協働・推進体制の構築状況について伺う。	
ウ 観光客の受入に際して、交通・駐車場・トイレ・ごみ・環境への配慮等の整備状況について、課題と対策を伺う。	
(3) ハワイアンフェスティバルの再構築について	
ア ハワイアンフェスティバルの現在の運営状況と課題認識について伺う。	
イ ブルーツーリズムを意識したイベントへ変更する考えはあるか。	
ウ ハワイアンフェスティバル開催と海岸清掃活動やウォーキングなどを連動させ、ブルーツーリズム推進の中心に位置づけてはどうか。	
2 共創による環境活動の推進について	市 長
(1) エコウォーカー事業の創設と市民の行動促進について	
ア 公共の場所等で市民がごみ拾い等の清掃美化活動を行うアダプトプログラムは、ボランティアグループと市との協働による美化活動であるが、登録団体数やその取組状況など実績はどのようなか。	
イ 個人等がボランティアで清掃活動を実施される際の現状の支援はどのようなか。	
ウ ポイ捨てごみのない清潔で快適なまちづくりを推進するため、本市でもエコウォーカー事業を立ち上げ、市民、企業等が参加できる仕組みを構築しないか。	

質問順位	12	議席番号	3 番	氏名	大須賀 竜也	答 弁 を 求める者
1 妊娠を望む方への支援体制について						市 長
(1) 妊娠を望む方への相談体制はどのようなか。また、市民が安心して気軽に相談できる仕組みは十分に整っているか。						教 育 長
(2) 妊娠前の若年世代に対する妊娠・出産に関する教育体制はどのようなか。						
(3) 不妊治療が健康保険の適用となったが、適用前と後で不妊治療費助成にどのような影響があったか。						
2 出生前診断の啓発と支援について						市 長
(1) 出生前診断を受けられる医療機関の把握、また市民からの関連相談の状況はどのようなか。						
(2) 出生前診断の検査費用の把握状況はどのようなか。						
(3) 出生前診断の費用助成をしている団体について把握しているか。また、本市として助成制度を検討する考えはあるか。						
質問順位	13	議席番号	28 番	氏名	前田 修	答 弁 を 求める者
1 西尾市地球温暖化対策実行計画について						市 長
(1) 気候危機の打開は、待ったなしの課題となっている。本市の温室効果ガス排出削減目標の達成状況と目標値達成への具体的施策はどのようなか。						
(2) 公共施設のZEB化と民間住宅のZEB化やZEH化に係る補助事業の拡充策はどのようなか。						
(3) グリーンインフラの取組として、樹木を増やすなどの対策についての考えはどのようなか。						
2 令和8年度予算編成について						市 長
(1) 令和8年度予算編成にあたり、経常経費2割カットなどの編成方針と聞くが、予算編成の取組状況はどのようなか。						教 育 長
(2) 市民サービスの減少、市民負担が増加するような施策があるか。政府の社会保障費削減などによる本市への影響をどのように受け止めているか。						

(3) 小・中・義務教育学校体育館のエアコン設置計画について、前倒しを検討している旨の発言があった。方式や予算など具体的にはどのようなか。				
(4) 本市の人口減少の推計値から財政への影響をどのように見通すか。長期的な財政見通しが必要と思うがどうか。				
(5) 法人市民税の超過課税(不均一課税)を全国8割の自治体を実施している。本市でも検討すべきではないか。				
3 保育士を増やし誰にでも安心な保育を			市長	
(1) こども誰でも通園制度が始まるが、課題と対策はどのようなか。また、どのような改善が国に求められるか。				
(2) 育休退園をなくすことや待機児童、保留児童など、本市の保育の課題をどう考えるか。また、その対策はどのようなか。				
(3) 保育士の確保が課題となっている。労働時間や勤務負担に関する処遇改善が必要と思われるがどのような取組をしているか。				
(4) 正規職員の保育士、会計年度任用職員の保育士への処遇改善加算やキャリアアップ研修修了者への加算など、給与引上げへの方策はどのようなか。				
質問順位	14	議席番号 1 番	氏名 くの 拓海	答 弁 を 求める者
1 庁舎案内等業務委託に関するコスト等について				市長
(1) 3年間の契約金額ベースで1,718万6,400円の増額となっているが、このことに関して市はどのように考えるか。				
(2) 令和4年度と令和7年度の契約金額の差は1人当たり114万5,760円となるが、この金額に対してどのように考えるか。				
(3) 予算作成や入札準備での見積りは、何者に依頼して、それぞれいくらだったか。				
(4) 人件費であれば、市の給与水準なども参考に金額の妥当性を判断できたと思うが、そのような対応はしたか。				
(5) 令和8年1月から、試行期間として開庁時間が午前9時から午後4時までとなるが、開庁時間変更後の委託契約の取扱いはどうなるか。				
(6) 長期継続契約に関わる共通仕様書では、契約締結日の属する翌年度以降において歳入歳出予算の当該金額について減額または削除があった場合は、当該契約を解除するものとする。これは1月から3月までの試行期間の金額は対象外となるが、この期間に発生する不要な金額の確認はしているか。				

(7) 開庁時間の変更について、入札前に検討していれば、このような対応は不要だと思うが、開庁時間変更の導入スケジュールについてはどのようにであったか。	
(8) 仕様書内の現場責任者や業務従事者の経験について、どのように確認しているか。	
2 庁舎維持管理業務委託に関するコスト等について	市長
(1) 3年間の契約金額ベースで1億3,503万6,000円の増額となっているが、このことに関して市はどのように考えるか。	
(2) 令和7年度の落札金額と比較すると令和4年度の落札価格は低価格である。低価格の場合、業務品質が要求水準に対し低くなること等が懸念されるが、業務実績はどうだったか。	
3 納税コールセンター運營業務委託に関するコスト等について	市長
(1) 常駐人数として、責任者1人、オペレーター2人以上となっている。通常3人で業務ができるとした場合、1人当たり年間695万2,000円の費用となり高額であると思うが、市の考えはどのようなか。	
(2) 実施以前では、会計年度任用職員で対応可能ではないかとの議論があったが、令和8年度の更新に対して再検討はしたか。	
(3) 現契約についてはプロポーザル方式で選定されたが、事業者からの提案内容はどのような点を評価して委託事業者としたか。	
(4) 令和5年度の提案上限額に対して343万2,000円の減額を行っているが、仕様書内容の削減部分の減額とのことでいいか。	
(5) 電話が繋がらない場合、SMSを利用した滞納者との接触があることを専門事業者のノウハウの一つとして挙げていたが、令和8年度契約分の仕様書からは削除されている。これについてどのようなか。	
(6) コンサルティングを委託業務の一部として入れているが、この内容と効果はどのようなか。	
(7) 過去に収納率や収納未済額の低減、収納額アップについての目標は算出しにくいとの答弁があったが、約3年の経験から目標値は設定できると考えるがどうか。	
(8) 職員が行う困難案件等の滞納繰越分の滞納整理業務に注力できるとのことだったが、今年度の見込みはどのくらいになり、今後3年間はどの程度改善できると目標を立てているか。	
(9) 業務委託のため、市からは直接オペレーターへの指示はできず、責任者とのやり取りになる。責任者が休暇を取得して不在となる場合の運用はどのようなか。	
(10) 令和8年1月から、試行期間として開庁時間が短縮されるが、このことでコールセンターの対応に変更はあるか。	

質問順位	15	議席番号	13 番	氏名	牧 一心	答 弁 を 求める者
1 西尾駅周辺の過ごしやすい環境づくりに向けて						市 長
(1) 西尾駅周辺がにぎわってきているが、現在整備が進んでいる西尾駅東駅前広場の今後の活用方法をどのように考えているか。						
(2) 西尾駅東歩行者通路下自転車駐車場の夜間照明が消えている状態が続いているが、電球交換や照明改善の方針はどうか。						
(3) 市役所前の多目的広場の貸出について、問合せ件数・利用件数の現状はどうか。						
2 国・県からのメールや文書の増加について						市 長
(1) 国・県から日常的に多くのメールや文書で照会や調査、事務連絡が届いていると思うが、その量は増加傾向にあるのか。また、その対応が職員の事務負担となっているのか、現状を伺う。						
(2) 国・県からの照会への対応について、本市では業務効率化や事務負担軽減のために行っている取り組みはあるのか。また、DXの導入や省庁や県への改善要望、庁内の情報共有フロー改善など、現状の取組を伺う。						
(3) 照会の方法やフォーマット、期限設定などの改善について、市長会などのネットワークを活用して、国・県に対し「照会業務の負担軽減」を働きかけることにより、全国の自治体で大きな効果が期待できると思うが、市長の考えはどうか。						
3 バイエリア観光活性化策について						市 長
(1) 耐震上の問題で整備を中止した佐久島の「地域おこし協力隊交流施設」の現状と今後の方針について伺う。						
(2) 地域おこし協力隊の活動状況と成果はどうか。また、市としてどのような方法で評価を行っているのか。						
(3) 吉良ワイキキビーチ東側の岩場に付着している貝により、毎年海水浴場利用者がけがをする事故が複数件発生している。観光地としての安全性確保は不可欠であると考えるが、岩場の安全確保策を講じる考えはないか、市の見解を伺う。						

一 般 質 問 議 題

令和7年西尾市議会12月定例会

令和7年12月3日分

質問順位	16	議席番号	15 番	氏名	福西 あきひと	答 弁 を 求める者
1 市民が快適に暮らすための下水道事業のあり方について						市 長
(1) 本市の下水道供用開始区域の推移はどのようなか。						
(2) 本市の特定環境保全公共下水道の考え方はどのようなか。						
(3) 今後の下水道事業の方針はどのようなか。						
2 過酷な環境で活動を強いられる地区交通指導員の待遇について						市 長
(1) 本市の地区交通指導員の活動状況はどのようなか。						
(2) 地区交通指導員の安全な活動に対する課題認識はどのようなか。						
(3) 地区交通指導員の持続的継続のための市の考えはどのようなか。						
質問順位	17	議席番号	7 番	氏名	神田 たかひろ	答 弁 を 求める者
1 幡豆地区におけるごみステーションの未回収ごみ問題について						市 長
(1) 幡豆地区で発生しているごみステーションの未回収ごみについて、市に報告はあるか。また、幡豆地区以外でも同様の報告はあるか。						
(2) 未回収ごみの判断基準について市は、「回収業者の判断に委ねている」と聞いているが、その判断基準は統一されているか。						
(3) 監視・管理・町内支援について、市外の方が不法にごみを捨てている場合、市民はどのように対応すればよいか。						
(4) 未回収ごみが発生した場合の処理をどうしているか。						

(5) 今後の対策、周知啓発について市として、未回収ごみ及び排出時間違反等の防止に向け、どのような具体策を検討しているか。			
2 令和8年4月開始の「プラスチック資源の分別変更」について			市長
(1) プラスチック分別拡大に伴う課題対応について、市民説明会での情報提供はどの程度進んでいるか。			
(2) 「分ければ資源、混ぜればごみ」という考え方を定着させるため、学校や地域、団体と連携した「ごみ減量学習」「分別体験」などの教育・啓発活動の実施予定はあるか。			
(3) 市民・事業者・行政が協働して循環型社会を築くための推進体制の構想はあるか。			
質問順位 18	議席番号 19 番	氏名 中根 文彦	答 弁 を 求める者
1 学校部活動の地域連携・地域クラブ等への移行に向けて			市長
(1) 中学校部活動地域展開の準備状況について			教育長
ア 中学校部活動の地域展開を進めていくうえで、体育館や運動場などの学校施設を地域クラブ等が利用することについて、教育委員会としてどのような考えか。			
イ 中学校部活動の地域展開を進めていくうえで、地域クラブ・総合型スポーツクラブとの連携状況はどのようなか。			
ウ 部活動指導員を充実させるための今後の課題はどのようなか。			
(2) 小学校部活動廃止後の活動保障について			
ア 小学校部活動廃止は大きな転換であり、地域スポーツへの橋渡しが成功の鍵と考えるが、地域の指導者・運営スタッフ等の人材確保の進捗状況はどのようなか。			
イ 地域クラブ等の情報を体系的に収集し、子供たちや保護者が必要な情報に容易にアクセスできるように、市として「情報を提供・周知できる仕組み」を構築する考えはあるか。			
(3) 兼職・兼業として部活動指導員を務めている教職員について			
ア 兼職・兼業として部活動指導員を務めている教職員数と活動状況はどのようなか。			
イ 教職員の負担が増加すると考えるが、教育委員会としての考えはどのようなか。			

(4) 中学校部活動の地域展開「西尾版モデル」の方向性について			
ア 西宮市等の先進自治体の事例から、西尾市として取り入れたい点はあるか。			
イ 剣道など既に地域で運営実績がある競技を、「西尾版モデル」として位置付ける考えはあるか。			
質問順位	19	議席番号 16 番 氏名 山本 道代	答 弁 を 求める者
1 雨水対策の現状と今後の取組について			市 長
(1) 雨水対策における現状はどのようなか。			
(2) 市街地の浸水状況を踏まえた優先対策区域の設定状況はどのようなか。			
(3) 生活道路の冠水の把握状況と原因はどのようなか。			
(4) 排水施設・調整池等の整備状況はどのようなか。			
(5) 雨水貯留・浸透・流出抑制施設の現状はどのようなか。			
2 人権が尊重されるまちづくりに向けた取組について			市 長 教 育 長
(1) 本市の人権施策の現状はどのようなか。			
(2) 今年度の「人権週間」における啓発事業の取組はどのようなか。			
(3) 学校現場における人権教育の実施状況はどのようなか。			
(4) 障がい者・高齢者・外国人など、多様な市民への支援体制の現状はどのようなか。			
(5) 人権推進の今後はどのようなか。			

質問順位	20	議席番号	12 番	氏名	杉浦 こうき	答 弁 を 求める者
1 将来人口推計に連動したまちづくりを						市 長
(1) 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、2025年から2055年まで30年間の将来人口推計では、市民の数が169,284人から128,292人へと減少する見通しが示された。さらに、年少人口(15歳未満)に至っては22,060人から6,100人へと約72%も減少する予測が立てられた。この確度はどれほどか。						教 育 長
(2) 人口減少による市政運営への影響はどのようなか。						
(3) より慎重な財政運営が求められる人口減少局面を迎えるにもかかわらず、今年度の大規模な財政調整基金取崩し予測が報告された。それに対し、9月定例会時点では先送り可能な事業はほぼないことが確認され、至急検討を行うとのことであった。その検討結果はどのようなか。						
(4) 西尾市公共施設等総合管理計画について、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更は行うのか。						
(5) 西尾市都市計画マスタープランについて、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更は行うのか。						
(6) 西尾市市営住宅長寿命化計画について、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更は行うのか。						
(7) 西尾市学校施設長寿命化計画について、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更は行うのか。						
(8) 学校給食の提供方式に対する西尾市学校給食運営協議会からの答申内容について、将来人口推計を踏まえて精査し、実情に合う形で取り入れるべきと考えるが、どうか。						
(9) 西尾市小学校プール全体計画及び西尾市屋内温水プール整備基本構想について、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更は行うのか。						
(10) 西尾市スポーツまちづくりビジョン2040について、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更は行うのか。						
(11) 西尾市地域公共交通計画について、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更は行うのか。						
2 JA高河原センターへの乗入口問題の再発防止に向けて						市 長
(1) JA西三河との協議の中で、道路が全て開通する前提で道路建設の合意は取れていたのか。						
(2) 令和7年11月7日に開催した全員協議会では、道路設置を急いでいた旨の説明があったが、何をどう急いでいたのか。						

(3) 結果として市は、誰も得をしないJA倉庫縮小工事のために1,500万円以上もの公金を無駄に投じ、さらには一連の問題解決のために裁判や調査に多大な労力、時間、お金を要したことになる。この原因や責任の所在について、どのように考えるか。						
質問順位	21	議席番号	8 番	氏名	石川 まゆみ	答 弁 を 求める者
1 インフルエンザワクチン任意接種事業の見直しについて						市 長
(1) 中学3年生と高校3年生相当を対象としたインフルエンザワクチン任意接種費助成の事業費の総額はどれほどか。						
(2) 2024年9月2日付、日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会が医療機関向けに発出した文書、「経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの使用に関する考え方」において、「被接種者から未接種者へのワクチン由来ウイルスの水平伝播が報告されている。」との注意事項が記載されている。本市としてこの情報を把握しているか。						
(3) 1990年代前半、インフルエンザワクチンの集団予防接種の廃止議論のきっかけとなった「前橋レポート」についてその概要を把握しているか。						
(4) 2021年にインフルエンザ患者数が例年と比べて劇的に減少した実態を把握しているか。						
(5) 2025年8月改訂の経鼻弱毒生インフルエンザワクチンであるフルミスト点鼻液の添付文書には「本剤接種後に2歳未満での入院及び喘息のリスクが増大した」との記載がある。医師は把握していると思われるが、市民への周知は十分か。						
(6) フルミスト点鼻液の添付文書に「妊娠可能な女性は、接種前約1か月間は避妊し、接種後約2か月間は妊娠しないように」と記載されている。妊娠可能時期での接種が何らかの影響を示唆していると考えられるが、本市として注意喚起を行った実績はあるか。						
2 香害、マイクロカプセルによる環境・健康被害防止と啓発施策について						市 長
(1) マイクロカプセルを含むマイクロプラスチックについて、海産物への影響が危惧されているが、本市において海産物への影響をどのように考えているか。						教 育 長
(2) マイクロカプセルを含むマイクロプラスチックについて、人体へ健康被害が懸念されているが、市民の健康への影響についてどのような認識をしているか。						
(3) 学校生活における香害や化学物質過敏症についてどのような認識か。						
(4) 小・中・義務教育学校で使用するエプロンと三角巾について、香害防止の観点から持参することとしたらどうか。						
(5) 関係する省庁が「その香り困っている人もいます」というポスターを作成している。香害に悩む園児・児童・生徒のために、校内、園内での掲示、すぐーる、ハグノートでの配信、ほけんだよりでの周知をしてはどうか。						
(6) 「その香り困っている人もいます」のポスターを庁舎内に掲示し、ホームページに掲載してはどうか。						

質問順位	22	議席番号	4 番	氏名	藤田 秀徳	答 弁 を 求める者
1 公園の在り方と利用環境の改善について						市 長
(1) 公園整備の目的と整備に向けた基本的な考え方はどのようなですか。						
(2) 矢田公園でボール遊びが禁止となった経緯はどのようなですか。						
(3) ボール遊びのルールや公園利用におけるマナーなどについて、地域住民とともに検討してはどうですか。						
(4) 矢田公園における樹木の剪定や除草の作業状況はどのようなですか。						
(5) 公園は子どもから高齢者までが交流する地域コミュニティを支える重要な拠点です。今後、市としてどのように「安全で、心地よく、地域とともに」公園づくりを進めていくのか、市長の考えを聞かせてください。						